

海外視察活動報告書

平成30年11月9日

長崎県議会議長 様

長崎県議会議員	橋村 松太郎
長崎県議会議員	坂本 智徳
長崎県議会議員	外間 雅広
長崎県議会議員	前田 哲也
長崎県議会議員	松本 洋介

1 日程 平成30年10月9日（火）から10月11日（木）まで

2 訪問国 大韓民国 仁川市広域市 江原道

3 調査目的 ①カジノの実情 ②カジノ依存症対策 ③観光産業としての存在意義

4 調査事項 IR誘致に向けて取り組む長崎県として先進地である韓国におけるカジノ運営を調査する。日本法人であるセガサミーが経営参画しているパラダイスシティにて新規増設するリゾート開発を視察し、経済雇用効果について調査する。
また韓国で唯一韓国人が入場できるカジノ施設である江原ランドにて依存症対策について調査する。

5 調査結果 別紙 報告書のとおり

6 調査により得られた成果及び県政への反映方策

今回の調査において2ヵ所のカジノを視察した結果、1つめのパラダイスシティでは集客と経済効果においては、いかに空港からのアクセスが重要であるか、またリゾート開発においてもニーズに合った充実を強化することが必要であることが調査によって分かった。2つめの江原ランドにおいては、韓国人が入場できる唯一のIRであり、その依存症の影響の大きさを改めて感じた。そういったなかで依存症対策に現在は万全の対策を講じている実情について調査することができた。また地域貢献についても十分に取り組んでおり、IRが地域と共に発展している経過を調査することができたことは参考になった。

月日	時間	内容
10/9(火)	10:35	福岡空港発
	12:00	仁川空港着
	12:30	<p>パラダイスシティ施設視察</p> <p>パラダイスセガサミー 日本市場企画運営室 野林 浩二 様 セガサミーホールディングス(株)リゾート事業本部 段 亜希 様</p> <p>①施設概要 敷地面積：330.000㎡（約10万坪） 投資金額：約1兆5675億ウォン 施設構成：ホテル（部屋数711数）ホテル付帯施設（レストラン、スパ、屋内プール） カジノ：（バカラを中心としたテーブルゲーム154台 電子テーブルゲーム62台 スロットマシン 281台）コンベンション施設、商業施設、文化施設</p> <p>②運営企業について パラダイスグループ：カジノをはじめ、ホテル、スパ、旅行、福祉財団、文化財団 教育にいたるまで多岐にわたり経営をしている。韓国内に17あるカジノのうち 4つを経営している。 セガサミーグループ：「遊技機事業」をはじめ「エンタテインメントコンテンツ事業」 「リゾート事業」を中核に幅広い領域で事業活動を展開する日本の総合エンタテイメ ント企業 パラダイスシティを通じて様々なノウハウを蓄積 全施設のスタッフ2000人 日本のセガサミーから現在57人のスタッフが常駐 2014年より6回にわたって人材を派遣、多岐にわたる人材で構成している。 研修後、フロア勤務を必須としており、現場の勤務を経験させている。</p> <p>③カジノについて 韓国にある16の外国人専用カジノの中で最大級の1592㎡。テーブルゲーム154台 カジノは奥に行くほど高額となり、バカラで入口だと1ベット1000円、奥に行くと2 万円から3万円となりVIPルームで20万となる。</p> <p>④所見 仁川空港より車で15分の好立地にあり、全世界からのアクセスが可能である立地の良 さだけでなく、ホテルやスパだけでなく映画や劇場、ショッピングモールなど まさにIRのお手本のような施設であった。今後もさらに開発を進める計画があり 長崎県から近いだけに今後競合する可能性を感じながらも、参考になる施設である と感じた。また日本企業のセガサミーが参入していることも本県がIRを導入する際に 有力な企業との接点を作ることができたと感じた。</p>

10/10(水)	10:00 ～ 12:00	江原ランドカジノ施設視察 キンミ ヒョッカ様 イージョンヨン様 ①施設概要 国内で唯一の韓国人専用カジノであり、炭鉱閉山後の経済復興のために1995年に関係法令が整備され2000年に江原ランドが開設された。 カジノの売り上げは1兆5千億ウォン（日本円約1500億円）で利益率は27%その売り上げは韓国内17個所のうちの5割を占めている。 自国民の入場料は9000ウォン（約900円）施設全体の雇用は3500人、カジノは1900人（ディーラー1100人）ディーラーの平均年齢は33歳 地元（江原道）からの雇用が70% カジノ施設のテーブルが160台、VIP20台、スロットマシン1360台 午前4時から午前10時までは運営せず、入場者も6000人/日で制限している。 ②地域貢献 地域住民の奨学金制度の設立や海外研修の支援など地域教育の振興に協力している。毎年売り上げの10%を地域貢献にあてていて、新設したプールの入場料は無料。また高齢者のお世話のボランティアも実施している。 ③人材 ディーラーの初任給は320万ウォン（約32万円）で韓国でも高額である。ディーラーにはノルマがあり、昇進するためには成果をあげる必要がある。ディーラーの養成については、江原ランド近隣の大学の観光学科にてディーラー養成コースが設置されており、安定した人材を確保できている。 ④所見 外国人専用カジノのパラダイスシティと対照的な韓国人専用カジノは当初は炭鉱閉山後の地域貢献の目的で設置されたが、江原ランドだけで韓国のカジノ売り上げの半分を占めるほどの大型施設となった。国内で1か所しかないこと、熱中しやすい韓国人の気性も影響していると考えられる。 また炭鉱閉山した過疎地域が一大リゾート地として発展し大きな雇用を生んだことは経済効果としては十分に役割を果たしていると感じた。 さらに地域貢献として教育や福祉に売り上げの10%を投じていることもカジノと地域が共存していくなかで重要なことだと思う。
	14:00 ～ 16:00	江原ランド中毒（依存症）管理センター視察 賭博対策委員 チョンヘイゼン様 ①施設概要 大きな売り上げをあげる一方で依存症が社会問題となり、その対策として2000年に江原ランドが設置した。年中無休で運営している。マンツーマンの相談室が7室あり、予約を受けて対応している。現在24名のクラークが対応し、内7名が相談員、心理士、社会福祉士、修士課程修了者 博士資格者2名（今後10名に増員予定）現在40億ウォン（約4億円）をかけてクラーク施設を改修中、今年の12月ごろ完成予定。

10/10(水)	14:00 ～ 16:00	<p>②事業内容</p> <p>クラークは予防、治療、リハビリの3つの事業を実施している。予防は年間10回未満の方を対象として広報やキャンペーンで対応する。カジノを統制することで適切な管理を実施しており、自覚がない人には義務教育で対応している。また自立更生プログラムも運営している。治療とリハビリについては、過没入防止プログラムを実施し再発防止に取り組み、集中治療が必要な方には治療費の支援や職業教育の支援を実施。財政状況の厳しい方には、弁護士等への財務相談の支援を実施。</p> <p>予防、治療、リハビリをワンストッププログラムで対応している。</p> <p>カジノ従業員を対象とした中毒に関するアカデミーを開設し、国内の関連学会での講演も行っている。</p> <p>2か月連続で月15日以上の利用者の入場を制限しカウンセリングを提供する。年間予算は3か月で約4千万円、年間1億6千万円となり、相談件数は年間13000件9000人を対応している。</p> <p>③所見</p> <p>炭鉱閉山後の地域振興の目的で県内で唯一韓国人が利用できるカジノとして大きな利益を地域にもたらした反面で依存症対策という大きな課題に対する対応策がうかがうなかで、改めてカジノがもたらす光と闇を見たような気がした。</p> <p>一日平均8千人余のカジノ利用者の6割は依存症という。カジノ開設以来2千人以上が自殺したと言われていた。カジノ周辺にはカジノの資金を借りるための質店が並んでいた。一度大金をかせぐとやめられなくなり、依存症になっていくこういった負のスパイラルを断ち切るためには、しっかりとした依存症対策の施設が必要であり、カジノとセットで対応していかなければならない。</p> <p>外国人の場合は定住しないので依存症に陥りにくいが、現地住民にとっては気軽に行ける反面リスクを負うことになる。江原ランドのカジノが大いに参考になった。</p>
10/11(木)	9:00 ～ 11:00	<p>世界遺産 水原華城 視察</p> <p>①施設概要</p> <p>水原華城は朝鮮時代の改革君主である正祖大王の夢が込められた城郭であり韓国城郭史上、最も独歩的な姿を誇っているとされている。</p> <p>日本植民地時代と朝鮮戦争を経て、多くの部分が破損したが、建造状況を詳細に記録した「華城城役儀軌」に基づいて、1975年から保守・復元し1997年にその優秀性が認められ、ユネスコの世界遺産に登録された。</p> <p>②所見</p> <p>世界遺産としてはドラマや映画のロケ地になるほど当時の状況が分かりやすい建造物であった。駐車場やトイレの整備も整っていて世界遺産の対応としては十分であったが、外国人対応としては不十分な面もあった。長崎の世界遺産も外国人対応についてしっかり取り組む必要を感じた。</p>
	14:00	仁川空港発
	15:30	福岡空港着